# 令和2年 国勢調査の概要

【従業地・通学地による 人口・就業状態基本集計結果】



栃 木 市



# 目 次

1	従業地・通学地による人口・就業状態基本集計結果の要約・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	結果の解説	
Ι	栃木市の従業地・通学地別人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
П	流入・流出人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
П	「	7

1 従業地・通学地による人口・就業状態基本集計結果の要約

### I 栃木市の従業地・通学地別人口

人口を従業地・通学地別にみると、「自市」が 42.8%であり、「他市区町村」が 19.8%である。「従業も通学もしていない」が 37.4%であり、平成27年と比べて 0.9 ポイント低下した。

#### Ⅱ 流入・流出人口

流出人口(栃木市に常住し、栃木市以外へ通勤・通学している者)は、小山市で最も多く、6,873人、次に佐野市、宇都宮市となっている。

流入人口(栃木市以外に常住し、栃木市へ通勤・通学している者)は、小山市で最も多く 6,611人、次に佐野市、宇都宮市となっている。

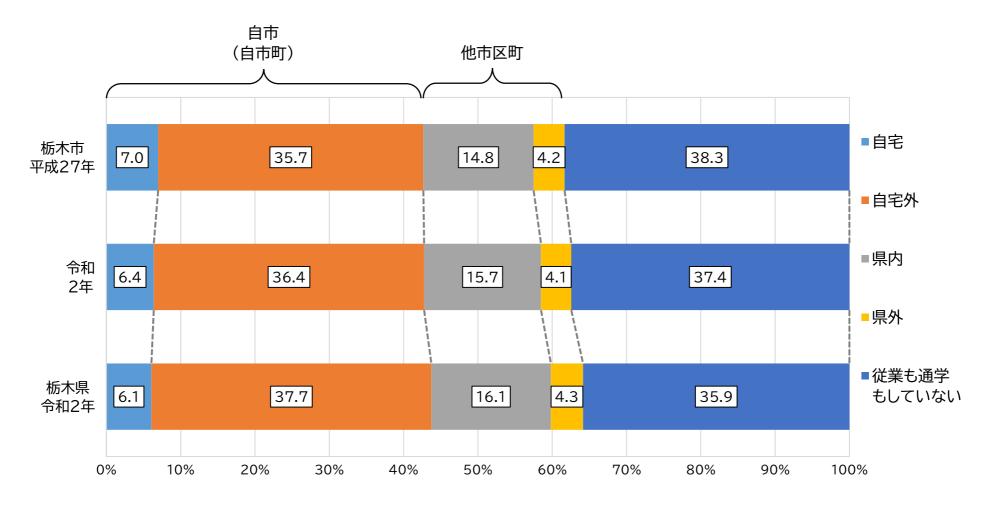
## Ⅲ 昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は96.9%であり、平成27年と比べて0.2ポイント上昇した。 夜間人口は平成27年と比べて3,662人減少し、昼間人口は、3,181人減少した。

#### 2 結果の解説

# Ⅰ 栃木市の従業地・通学地別人口

人口を従業地・通学地別にみると、「自市」が42.8%であり、「他市区町村」が19.8%である。「従業も通学もしていない」が37.4%であり、 平成27年と比べて0.9ポイント低下した。



(注)不詳補完値による

表1 従業地・通学地別人口(栃木市)

	実数(人)		割合	· (%)	R2-H27 増減	
栃木市	令和 2年	平成 27年	令和 2年	平成 27年	<b>実数</b> (人)	割合 (ポイント)
人口	155, 549	159, 211	100. 0	100. 0	<b>▲</b> 3,662	_
従業も通学もしていない	58, 238	61, 029	37. 4	38. 3	<b>▲</b> 2, 791	▲ 0.9
従業又は通学している	97, 311	98, 182	62. 6	61. 7	<b>▲</b> 871	0. 9
自市町	66, 524	67, 921	42. 8	42. 7	<b>▲</b> 1, 397	0. 1
自宅	9, 924	11, 094	6. 4	7. 0	<b>▲</b> 1, 170	▲ 0.6
自宅外	56, 600	56, 827	36. 4	35. 7	<b>▲</b> 227	0. 7
他市区町村	30, 787	30, 261	19. 8	19. 0	526	0.8
県内	24, 466	23, 619	15. 7	14. 8	847	0. 9
県外	6, 321	6, 642	4. 1	4. 2	▲ 321	▲ 0.1

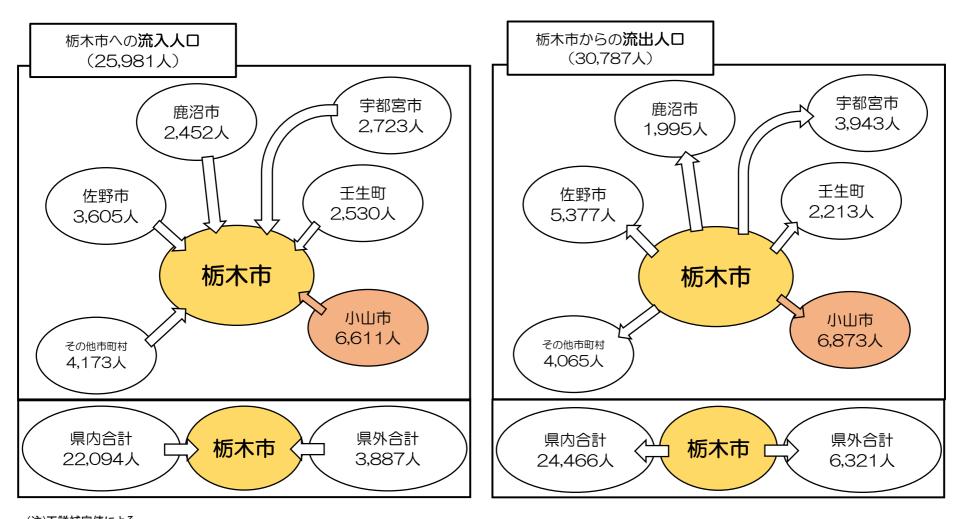
表2 従業地・通学地別人口(栃木県)

	実数(人)		割合	(%)	R2-H27 増減		
栃木県	令和 2年	平成 27年	令和 2年	平成 27年	実数 (人)	割合 (ポイント)	
人口	1, 933, 146	1, 974, 255	100. 0	100. 0	<b>▲</b> 41, 109	_	
従業も通学もしていない	693, 065	725, 026	35. 9	36. 7	<b>▲</b> 31, 961	▲ 0.9	
従業又は通学している	1, 240, 081	1, 249, 229	64. 1	63. 3	<b>▲</b> 9, 148	0. 9	
自市町	845, 468	864, 183	43. 7	43. 8	<b>▲</b> 18, 715	<b>▲</b> 0.0	
自宅	117, 104	126, 904	6. 1	6. 4	<b>▲</b> 9,800	<b>▲</b> 0.4	
自宅外	728, 364	737, 279	37. 7	37. 3	<b>▲</b> 8, 915	0. 3	
他市区町村	394, 613	385, 046	20. 4	19. 5	9, 567	0. 9	
県内	310, 967	302, 085	16. 1	15. 3	8, 882	0.8	
県外	83, 646	82, 961	4. 3	4. 2	685	0. 1	

(注)不詳補完値による

# Ⅱ 流入・流出人口

流出人口(栃木市に常住し、栃木市以外へ通勤・通学している者)は、小山市で最も多く、6,873人、次に佐野市、宇都宮市となっている。 流入人口(栃木市以外に常住し、栃木市へ通勤・通学している者)は、小山市で最も多く6,611人、次に佐野市、宇都宮市となっている。



(注)不詳補完値による

栃木市への <b>流入</b> 人口						
	流入人口(人)		割合	(%)	増減数(人)	増減率(%)
区分	令和 2年	平成 27年	令和 2年	平成 27年	令和2~ 平成27年	令和2~ 平成27年
栃木市への流入人口	25,981	24,974	100.0	100.0	1007	4.0
県内	22,094	21,227	85.0	85.0	867	4.1
宇都宮市	2,723	2,541	10.5	10.2	182	7.2
佐野市	3,605	3,458	13.9	13.8	147	4.3
鹿沼市	2,452	2,394	9.4	9.6	58	2.4
小山市	6,611	6,497	25.4	26.0	114	1.8
壬生町	2,530	2,505	9.7	10.0	25	1.0
その他市町村	4,173	3,832	16.1	15.3	341	8.9
他県	3,887	3,747	15.0	15.0	140	3.7
茨城県	1,249	1,264	4.8	5.1	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 1.2
古河市	474	454	1.8	1.8	20	4.4
その他市町村	775	810	3.0	3.2	<b>▲</b> 35	<b>▲</b> 4.3
群馬県	832	763	3.2	3.1	69	9.0
館林市	233	216	0.9	0.9	17	7.9
板倉町	252	239	1.0	1.0	13	5.4
その他市町村	347	308	1.3	1.2	39	12.7
埼玉県	1,134	1,008	4.4	4.0	126	12.5
加須市	175	158	0.7	0.6	17	10.8
久喜市	216	166	0.8	0.7	50	30.1
その他市町村	743	684	2.9	2.7	59	8.6
東京都	233	226	0.9	0.9	7	3.1
特別区分	186	194	0.7	0.8	▲ 8	<b>▲</b> 4.1
その他市町村	47	32	0.2	0.1	15	46.9
その他都道府県	439	486	1.7	1.9	<b>▲</b> 47	<b>▲</b> 9.7

<sup>(</sup>注)不詳補完値による

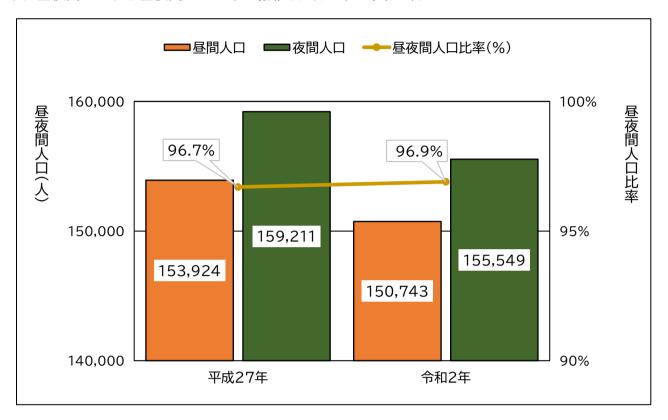
	流出人	.口(人)	割合	(%)	増減数(人)	増減率(%)
区分	令和 2年	平成 27年	令和 2年	平成 27年	令和2~ 平成27年	令和2~ 平成27年
栃木市からの流出人口	30,787	30,261	100.0	100.0	526	1.7
県内	24,466	23,619	79.5	78.1	847	3.6
宇都宮市	3,943	3,902	12.8	12.9	41	1.1
佐野市	5,377	5,334	17.5	17.6	43	0.8
鹿沼市	1,995	1,874	6.5	6.2	121	6.5
小山市	6,873	6,613	22.3	21.9	260	3.9
壬生町	2,213	2,033	7.2	6.7	180	8.9
その他市町村	4,065	3,863	13.2	12.8	202	5.2
他県	6,321	6,642	20.5	21.9	▲ 321	<b>▲</b> 4.8
茨城県	1,188	1,091	3.9	3.6	97	8.9
古河市	563	539	1.8	1.8	24	4.5
その他市町村	625	552	2.0	1.8	73	13.2
群馬県	1,556	1,586	5.1	5.2	▲ 30	<b>▲</b> 1.9
館林市	510	541	1.7	1.8	▲ 31	<b>▲</b> 5.7
板倉町	348	358	1.1	1.2	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 2.8
その他市町村	698	687	2.3	2.3	11	1.6
埼玉県	1,591	1,692	5.2	5.6	<b>▲</b> 101	<b>▲</b> 6.0
加須市	174	153	0.6	0.5	21	13.7
久喜市	211	188	0.7	0.6	23	12.2
その他市町村	1,206	1,351	3.9	4.5	<b>▲</b> 145	<b>▲</b> 10.7
東京都	1,567	1,786	5.1	5.9	<b>▲</b> 219	<b>▲</b> 12.3
特別区分	1,444	1,670	4.7	5.5	<b>▲</b> 226	<b>▲</b> 13.5
その他市町村	123	116	0.4	0.4	7	6.0
その他都道府県	419	487	1.4	1.6	<b>▲</b> 68	<b>▲</b> 14.0

<sup>(</sup>注)不詳補完値による

## Ⅲ 昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は96.9%であり、平成27年と比べて0.2ポイント上昇した。 夜間人口は平成27年と比べて3,662人減少し、昼間人口は、3,181人減少した。

#### 図 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移(平成27年ー令和2年)



夜間人口(常住地による人口):調査時(令和2年10月1日)に調査の地域に常住している人口。 昼間人口(従業地・通学地による人口):「夜間人口-流出人口+流入人口」により算出される 人口。

昼夜間人口比率:次の式により算出され、100を上回るときは昼間人口が夜間人口を上回ることを を示し、100を下回るときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している。

昼夜間人口比率=(昼間人口/夜間人口)×100

#### 表 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移(平成27年ー令和2年)

(単付:人)

	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率(%)
平成27年	153,924	159,211	96.7%
令和2年	150,743	155,549	96.9%
平成27年- 令和2年差	3,181	3,662	-0.2%

(注)不詳補完値による